

土佐希望の家通信

<発行>重症心身障害児(者)施設 土佐希望の家 高知県南国市小籠107 TEL 088(863)2131/FAX 088(863)2133/
 http://www.tosakibou.jp Email:tosakibo@i-kochi.or.jp 発行責任者 門田 正坦 編集責任者 中屋 淳

HAPPY LIFE
家族の窓
No.17
竹崎千絵様
1病棟



1病棟でお世話になっております竹崎千絵の母です。入所してもう三十八年経ちました。主人の仕事の関係で名古屋に行き、その大病院で白内障がわかり、6か月までに手術をしないと失明してしまうと言われ、もう6か月だったので即手術をしました。そして又大阪に移り何年か住んでいる時にテレビで希望の家の事を知り、急いで帰ってきて入所させてもらいました。

入った当時は食事をしたらどうか、ちゃんと寝ているだろうかという心配をしていましたが、ハイハイしか出来ない千絵が面会日に行く度に成長して、一人で食事をしたり、トイレに行ったり、笑ったり怒ったりとびっくりしたものです。家に帰ってくると、嬉しいのか私にかまってほしいのか5分〜15分置きにトイレに走ります。私がついてきているのか試みます。こんな事が出来るようになったのも職員の皆様方の温かい努力とご指導とご尽力のおかげだと思っております。こんな子供を持つ親にとって希望の家は生きていける所だと感謝の気持ちでいっぱいです。



ちよっさい話

私の仕事 (15)

リハビリテーション科 前田早織
 骨折後、週4回理学療法室に通ってきている1病棟の宮崎義夫さん。はじめのうちは、腕を組んで怒っていたり、元気のない声で「いや...いや...」と言ったり理学療法室にくるのがあまり楽しくないようでした。しかし、最近では積極的に「ひでさかけて」と言えるときもあり、西城秀樹のCDをかけてると、周囲と一緒に「ローラー」や「好きなんだよ〜♪」と大きな声を出しながら歌う場面も見られるようになりました。また、廊下を歩きながらすれ違う人に大きな声で「わあー!」と驚かし、その反応をみて大満足の笑みを浮かべたり、犬のぬいぐるみの毛を筆で叩いているかと思えば、チュチュと優しくキスをしたり。宮崎さんの話す一言一言に新たな発見があり、また、利用者様を通してたくさん職員の方と会話することができ、まだまだ分からないことの多い私には刺激になります。これからも色々な場所に歩いて(散歩)いき、希望の家の知らないところを発見していきたいです。



生活介護事業所やまもも 看護師
 松岡美保子

5年前に希望の家に就職しました。私の仕事は利用者様の看護的処置、健康管理、身の周りの介助、介護だと思っています。希望の家に勤め始めてから4年間はずっと病棟勤務でしたが、昨年9月より在宅支援センターに異動になりました。自宅から通園される方を夕方までお預かりする部署です。重度の障害や複数の疾患をもった方々が通園されています。季節の変わり目などは特に体調を崩しやすく、軽い風邪でも重篤化することがあるため、健康管理は仕事の中で一番重要だと考えています。体調を崩さないことが、保護者の方、利用者様にとっても嬉しいことだと思います。

通園の送迎で保護者の方と色々話をしていく中で、我が子への愛情、思いを強く感じます。病院や施設に子供を預けるといことは、親を預けるより、気持ちの上でずっとならぬ気がします。以前の職場は一般病院だったため、日々の業務や忙しさに追われ人と人との関わりが薄かったかもしれませんが、就職して最初の頃は、病院との違いに戸惑うことが多かったですが、希望の家で勤務していく中で、私の今までの考え方も少しずつ変わっていききました。利用者様に満足してもらえる仕事ができているかまだ分かりませんが、これからも自分なりに頑張っていきたいと思えます。

ありがとうございました

希望の家祭実行委員長 大久保信一



今年の希望の家祭のテーマは『笑顔 SUN SUN』希望の輪で笑顔を広げよう。』と皆で決めました。当初、委員長の話があった時は自分の耳を疑いましたが、引き受けたからには責任を果たさなくてはと思い、皆に助けていただきながらなんとか取り組んでいきました。途中、失敗やいろんな問題も起こりましたが、2人の副委員長にがっちり脇を固めていただき、療育部長とも常に連絡を取りながらやっていきました。

本番前日はどしゃ降りの雨で、雷さえ鳴っていて、明日日本当にやれるのかという不安の中、皆の思いが通じたのか、翌日は見事に晴れて無事開催することができました。

33 希望の家祭

笑顔 SUN SUN ~希望の輪で笑顔を広げよう~



カラオケ大会で職員もハハハ!



「」厚意



【寄付金・寄付物品】

高知フライデーウィンドアンサンブル様 正木利香様 光富明美様 高知ライオンズクラブ様 乾理賀様 恒石弘幸様 小林豊様 久富久貴様 北村忠司様 土井和仁様 池尻浩一様 西原達郎様 安藝菖子様 池川誠也様 内田香織様 高知よさこいライオンズクラブ様 岡本清正様

ありがとうございました。
 今後ともよろしくお願ひします

☆ 編集後記 ☆

今年も希望の家祭が無事終わりました。天候には毎年やきもきさせられますが、今年も当日は晴れてよかったですね。スタッフの皆さんもお疲れ様でした!



毎年恒例のフリーマーケットもたくさんのお客さんが来てくれました!



ステージでは、保護者の皆さんの阿波踊りにはじまり、若草養護学校希望の家分校の有志の皆さんによるマルモリダンスや、あざみ病棟のカラオケ、ひまわり病棟の音楽、外部からは高知農業高校様の吹奏楽部、アルペリー様による妖艶なベリーダンスなどで楽しい時間を過ごさせていただきました。

今回の希望の家祭を通して、皆で何か一つのことに取り組むことの大切さ、大変さを学ばせていただきました。また、テーマである『笑顔』が利用者さん、職員、そして地域の方々へと少しでも広がった素晴らしい希望の家祭であったと思います。今後も広がっていきましょう。皆さんお疲れ様でした。ありがとうございました。

希望の家祭(つづき)

今年の希望の家祭では、サプライズゲストとして堀江真美さんが出演され、ピアノのライブをしてくれました。

堀江さんの母、通子さんが1970年の開所から2年間ほど、希望の家で看護師として勤務されていたことが縁で今回のライブが実現しました。当時中学生だった堀江さんは土日になると希望の家を訪れてピアノや歌を披露してくれていたそうです。

今回は昭和歌謡や童謡、また堀江さん作詞・作曲の「ありがと」などたくさんさんの歌を歌っていただきました。ありがと、ごさいました。また遊びにきてください！



フリーマーケット
今年もよく売れたよ
(- -)



「スマイル食堂」おいしかったわ！！ 施設内もたくさんの飾り付けをがんばりました。

花火大会



だんだん暮れてくると、花火がいつそうきれいに映えてきます。

成人式(つづき)

二病棟療育課長 中西純

十一月二十日、全国の成人式に先駆けて、希望の家で成人式が行われました。

今年度、成人を迎えられたのは、二病棟の野村和人さんでした。いつもは新年早々に開催するのですが、二年続けて、流感インフルエンザ等で延期を余儀なくされたので、今年は少し早目に開催しました。

「ビシッ！」と、袴姿で決めた和人さんは、普段とはまた違ってとても凛々しく輝いていました。式典では、山崎元理事長や、常務理事、教頭先生、保護者会長、元担任の吉井先生の祝辞がありました。プロフィール紹介では、生まれたばかりの時や、無邪気に笑っている姿や、通園し始めた頃、学校での楽しい旅行や音楽療法を受けている時等、様々なその時を見せられました。

お母さんと二人三脚で歩んできた今までを思い出し、お母さんの目には、うっすらと涙があり、和人さんは、はにかんだ表情で聴いていましたね。その二人を後ろから見ていた僕は、ウルツときてしまいました。

余興では、太鼓クラブの乱舞に驚き、職員有志の阿波踊りには目を輝かせ、二病棟看護・助手・療育の『江差餅離子』には杵を持つて搗いたり、療育部長が搗く時には満面の笑みで周囲の人を笑わせてくれましたね。最高のひと時でした。

プロフィール紹介でもあった、和人さんの応援歌「明日(未来への一歩)」の詩にある「人生の階段を一步一步踏みしめて」のように、これからもゆっくと和人さんにはかない人生の階段を歩んでいきましょう！スタッフ全員で、その階段の、和人さんの足元を照らしていきたいと思っています。踏み外さないように。

成人おめでとうございます。



お世話になった先生方もかけつけていただいて、素敵な成人式になりました！

通園遠足行ってきました 一泊旅行(つづき)

十一月二日、通園の秋親子遠足は、ヤシーパークへ、親子十三組、職員も合わせて総勢四十名ほどで行ってきました。天気は曇りで気温は暖かく丁度の天候でした。現地に着くと早速、道の駅で野菜等の買い物をする方や、海岸を散歩する方、おしゃべりをする方など自由に楽しみました。

十一時五十分頃より昼食、お弁当・レストランで食事とそれぞれ分かれて食べました。午後からはいよいよ宝探し。宝カードをみんなで探し、ワイワイガヤガヤ「あった」「ない」「ここよえー」など言いながら探しました。その後はカードと宝物の交換です。さて、楽しみの宝は、缶詰やラーメン・ふりかけなどそれぞれ喜んで楽しみました。

最後は似顔絵面談。利用者や保護者の方に、各職員をもっと知ってもらおうと、竹内課長と職員が話しながら自己紹介的な内容(勤務年数、性格や趣味など)を話して楽しんでいました。いろいろなイベントがあり、楽しい遠足でしたと保護者の方よりお声をもらいました。

9月30日から一泊旅行で亀井吉之さん、松村昌紀さん、西岡国江さん、沢村多枝子さんの4名で国民宿舎桂浜荘に行きました。

日中は、牧野植物園でのマイナスイオンに癒され、その後宿泊先の桂浜荘では部屋と大浴場からオーシャンビューにも癒されました。そして、お肌もつるつるすべすべになり、ベビーのようなもちもち肌になりました。桂浜荘は全てにおいて3つ星でとても満足しました。

次の日は、高知駅で開催されている今、話題の幕末志士社中に行き、龍馬さんと一緒に写真を撮ってもらいました。シャッターをきる時の掛け声は高知とかけて「ハイ！コーチ！」と言って、「この掛け声を全国に広めたい。」と熱く話してくれました。

よさこい踊りのきれいなお姉さん方も写真を撮ってもらい、今度希望の家にも踊りに来てくれる約束までしました。

高知の良さを再認識出来た充実した旅行でした。

龍馬ブームで、今年の一泊旅行は「桂浜荘」が大人気！1・2・3病棟それぞれ行ってきました。たくさんのいい思い出ができました！



北海道旅行に行ってきました！



長年の夢だった北海道旅行に行きました。とても楽しみにしていたのに・・・飛行場で「ピー」の音。棒を持ったお姉さんが私の身体をチェックしまくると、「ヒー・・・」と思いました。

飛行場とJRを乗り継ぎ、まずは小樽へ。駅弁、寿司、ラーメン、ギョーザ、チーズ、ワインなど食べたい物を全て食べて満足。ただ残念だったのは雨になったこと。楽しみにしていた大通り公園をビュンビュン走り抜け、ゆっくりできなかったこと。次は大阪、函館など行きたい人募集しています。

3病棟あざみ 坂田幸子



通園の秋の親子遠足は、ヤ・シーパークへ行ってきました。



高知駅前の「幕末志士社中」三志士像『ハイ！コーチ！』

